

第3学年社会科 シラバス（学習案内）

教科の目標

○中学校社会科の目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

○中学校3年生の社会科の目標

- ・社会のいろいろな問題に着目し、自ら考えようとする態度を身に付ける。
- ・これからの社会のために、国際社会の一員としての立場から諸問題について考える。
- ・家族、郷土、自国を愛するとともに、国際社会において大きな役割を担う日本のあり方を考える。
- ・現代の社会のさまざまなできごとに対する関心を持ちながら課題を追究する。その際さまざまな角度から、いろいろな立場に立って考える。
- ・学習の中で、必要な情報とそうでない情報を選び分ける力を養う。
- ・表やグラフ、図などから読み取ったことやわかったこと・結論などを、わかりやすくまとめたり人に伝えたりする表現力を身に付ける。

本校ではこれらの目標を次の「評価の観点と方法」をもとに達成することを目指します。

評価の観点と方法

観点別評価の項目	評価の観点	評価の方法
関心・意欲・態度	社会のできごとに興味を持ったり、追究して学んだことをこれからの自分に生かそうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、取り組みのようす、発言、宿題などの提出物等 ・予習プリントをしているか。
思考・判断・表現	社会のいろいろなできごとについて、似ている点や異なっている点、結び付きがある点等に気付き、なぜそうなっているか理由や原因を考察し、新聞やレポートなどにわかりやすくまとめて伝えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・考察で事象を正しくとらえたか ・授業中の発言や発表 ・定期テスト
資料活用の技能	社会のさまざまなできごとについて、資料や統計、地図などから特徴を読み取ったり、図や表、グラフや新聞などを作成することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発言や発表内容 ・定期テスト ・読み取った内容や情報を使って発表等ができたか。
知識・理解	社会のさまざまなできごとに関する語句の意味や日本の政治、経済のしくみや国際社会の問題等を理解し、その知識を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト、確認の小テストなど ・授業中の発言や発表内容 <p>★定期テストの点数は重視するが、点数だけでは評価しない。</p>

第3学年 社会科 学習計画

学期	月	学習内容（单元名）	学習のねらい
一学期	4		
	5		
	6	歴史 第5章 3節 日清・日露戦争と近代産業	<ul style="list-style-type: none"> ・日清・日露戦争と条約改正、自由民権運動や大日本帝国憲法などを学習し、国際的地位が向上していった様子を学習します。 ・日清・日露戦争と条約改正、自由民権運動や大日本帝国憲法などを学習し政治自覚の高まり理解します。
	7	第6章 二度の世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦のあらまし、国際連盟や大正デモクラシーなどを学習します。 ・昭和の初めから第二次世界大戦の終結までを戦時下の国民の生活、日本を取り巻く情勢について学習します。
二学期	8	第7章 現代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後、国際社会に復帰するまでの民主化と再建過程を学習します。 ・戦後の日本のあゆみや役割、これからの課題などを学習します。
	9	公民 第1章 現代社会と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会にはどのような特色が見られるのか、どのような伝統文化の影響を受けているのかを学びます。
	10		<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会をとらえる見方や考え方を学びます。
	11	第2章 個人の尊重と日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の尊重の考え方や法の意義について、基本的人権や日本国憲法の役割を中心に、具体的な活動を通して意欲的に追究できるようにしていきます。
	12	第3章 現代の民主政治と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙をはじめとする国民の政治参加によってより良い民主政治が運営されることに気付き、良識ある主権者としての政治参加の在り方について考えます。 ・新聞記事や統計資料など、日本の政治に関する資料を適切に収集・選択させ、現実の政治の動きを様々な視点から考えます。
三学期	1	第4章 私たちの暮らしと経済	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な消費生活を中心に経済活動の意義を学び、市場経済の仕組み、金融の必要性、企業の社会的な役割と責任などについて考えます。 ・財政の役割や租税の意義について考え、国民生活と政府の役割について学びます。
	2	第5章 地域社会と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・世界平和と人類の福祉の増大のために、世界の国々ではどのような協力が行われているか、わが国ではどのような協力が行われているかについて学びます。
	3		<ul style="list-style-type: none"> ・私たちがよりよい社会を築いていくためにはどうしたらよいのかについて、持続可能な社会を形成するという観点をもち、課題を設けて追究していく学習を通して、これからの社会参画の在り方を考えます。

◎学習計画は、実態に応じて変更することもあります。